- [Ж_											_				※種 別					※整 I	7	;	*					
	1		※ 区	分			(受給者番号)																						
	-	7																		人番号)		1 2	3 4	. 1 .	2 3	4 1	2 3	3 4	
	を受	ŧ(†	住	_	v		成花川北6条1丁巳30番地2 氏氏										(役則	(役職名)											
	る	者	所	4 :	<u>}</u> 4,∟	中化川												(フリガナ) イシカリ タロウ											
	a)	1	171																										
-																							,	7					
		種	別							給与所得控除後 (調整控除往					1	所	得控除o	が設めた	計額		源县	泉徴収税	額						
F	内									円					(8-232-2321-7-104)					Ħ				円内					
	i	給-	与 ·	真	与		6,000,000							4,300,00					2,750,000)	0					
F						-						50,000				除対象扶養親族等の							障害者の数			-1	非居住者である		
			除対象配偶者			5 5 5 5 5	配偶者(特別) 控除の額								13	(配偶者を除く。))		16歳未満 扶養親族		(本人を除く。)			であ			
(の有	_	老人 従有			V 12						特定				老人			そ	の他	特親 の 人 従人		の数・					親族の数人	
ŀ	有		便	有				00	00	_	H		從人		内		٨	従人	٠,	人従	^	從人	٨	内	시	٨		^	
L	C)					3	80,			<u> </u>	1			1		1		1		1	$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}}}}}$	1						
		特:	定親	族特	別控	除の額		L	Ż	1会	呆険料等	の金	額			生命	命保障	倹料の	控除		地	喪保険	の控除額	円	住宅借入	人金等特	別控除		
				210,			,000,							円						Ħ								Ħ	
											400,00			00		12			20,000							80		0,500	
7	(括	新要	()																					<u> </u>					
	(1)	可女		00)株元	式会社	村.(幌市	北区	区北〇条西社会保険		料 249,)番				ΟΔΟ		株式会	社 7	に幌市に	中央区北		TEO	○番			IJ
			支	給金	額	2,6	77,C	000	円)円				金	額	255,000	000円	社会保	険料	15,366円				H
U			源	泉復	如又利	兑額	3,000円 令和7					年7月31日記				源			泉徴収税額		1,360円		令和7	年9月	9月30日退職				"
			新生命保険料 の金額					н						_					д				В				H	1	
	生命保 の全制 内部	感の			料		78.52		20	旧生命係の金		22	225,3		介険	介護医療保 険料の金額		89,6		600	新個人 ^会 保険料の	金額 1	120,00		旧個人年 保険料の金	年金 の金額		17	
7						10,020			-			-		Я														1	
	住宅信金等物		住宅借入金等 特別控除適用数			1				開始年月日 1回目)	F	2	5	5	1	0	控除	信人当 区分(全等特別 (1回目)	住(特	寺)	住宅借入金 年末残高(1回			0,00	0,00	000	K	
	控除の	の額	4.70.14			H a						年		月	日							住字借入会:		. 3,333		/ -	円	1	
	の内	訳	住宅借入金等 特別控除可能額		1	100,000				開始年月日 (2回目)									全等特別 (2回目)			住宅借入金 年末残高(2回							
7			29	חד	71		4970 NT													п				-					,
		·特		氏名			1000 700					区				記偶者の 合計所得					国民年金 料等の				旧長期損害 険料の金				
	別) 対象	氏				石狩 花子			2	分			- 7				20	200,000					H				-F	
	配偶		個人番号 2									1	6	١.			20	ال,ر	000	基礎控除	の額			所得金額 調整控除額			N		
L					2	3 4	5	2	3	4	5 2	3	4	0	1			L.,					680.0	OO	No. TE LE INV	iot			
			フリ	カナ			イシカ	ר עו	チロ	כ		区					フリ	ガナ		-	イシカリ	サブロウ		K		51811	降の控除対	ht sp	
		1	氏	氏名			石狩 一角			-良R		分		_		, B		名								5人日以 快養親	族の個人番	号	
限 文章 注 主 亲 方		1														ľ					5符	二郎	良 R						
			個人	番号	3	4 5	5 6 3 4			5	6 3	4	5	6			個人	番号	6	78	96	7 8	96	7 3	8 9				
	Ī		フリ	ガナ						,					7		711	ガナ						E		~		X	
	控		-	,	,							区分			1		I rc.	D										13	
	除	2	片	5名			石狩 一			₽R		n			6	2	片	:名											
	対象	ŀ	個人	番号	4	5 6	7	4	5	6	7 4	5	6	7	歳未	,	個人	番号	П			V		M			1		
	扶		フリ		-		75.0	-		U	/ +		U		8	\vdash		ת ל תו					T.						
	養親		É	/			イシカリ ゴロ			J7		区			扶養		<u>ر ر</u>	727									\rightarrow		
	族	3	氏	氏名								分			親	3	氏	氏名								5人占"原 扶養親」	条の16歳オ 阪 → 個人	満の 号	
	等		<u> </u>				石狩 五郎						族		<u> </u>														
			個人		5	6 7	8	5	6	7	8 5	6	7	8				番号									1		5
	ſ		フリ	スリガナ 氏名								_					フリ	ガナ									-		
		4	_#									区分					I II	氏名						区分					
			"								-					4	"	.10											
	V		個人	番号											1		個人	人番号							7				
ŀ	*			- R				本人が降音:			_	-	1	-							TIÁN						+		
I	未成	:	外 亡		災害	Z	\vdash	持	そ		寡		5	ÿ	th F				中途就・退		職			受		受和有工年月日			
	年者			退職	者	欄	別別		О.)	婦		り 親	9	≱ Ė		t m	退職		年	月	B	- 5	号	年	. J		日	
	-			704					他							職		均线	-		11				i	- F	3 E		
																				7		1	82	訊	4	5 1	0	1	
t			個人法	番号	又は号	1 2	3	4	5	6	7 8	9	0	1	2	3	(右部	詰で記入	して	ください)									
	支		-	人番			_	_	_			_	_		_	_													
	払			は所在		台狩 市	祁心	IIII	O\$	€O	丁目〇		首地																
	者	1	氏4	3又は4	5称	(株)〇(\mathcal{C}	(商)	\$												(電話)	013	3-72	-//	$\wedge \wedge$				
- 1			氏名又は名称 (材		TINIA CO	\sim	- I-U -	_												(電話) 0133-72-△△△									

(摘要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

給与支払報告書(個人別明細書)作成の注意点 ※市役所へ提出する個人別明細書の ~正確な記入をお願いします~

枚数は、1人につき1枚です。

従業員の住所、個人番号(マイナンバー)、フリガナ、氏名、生年月日は必 ず記入してください。

実際に給与等を支払った年の、翌年の数字を記入してください。 ※令和7年1月~12月までに支払った給与等の場合は「8」と記入。

配偶者控除(者人)または配偶者特別控除の対象となる配偶者がいる場合は、 必ず控除の額を記入してください。

特定親族を有する場合には、その特定親族の合計所得金額に応じて最高63万 円を控除する特定親族特別控除が創設されました。対象となる特定親族がい る場合は、必ず人数と控除の額を記入してください。

前職分を含めて年末調整した場合は、支払者の名称、所在地、退職日、支払 金額、控除した社会保険料および現前徴収税額を摘要欄に記入してください。 前職が複数ある場合は、合算せずに支払者毎に記入してください。

専従者の場合、「専従者給与」と記入してください。

生命保険料控除の適用がある場合は、**必ず、生命保険会社等が発行した控除証** 明書の払込(予定)額を内訳欄に記入してください。

住宅借入金等特別控除の適用がある場合は、内訳欄に記入してください。 ※特定取得、特別特定取得または特例特別特定取得に該当する場合は、区分欄に 「(特)」、「(特特)」または「(特特特)と併記してください。例:「住(特特)」

控除対象配偶者および扶養親族がいる場合は、対象者の個人番号(マイナン バー)を記入してください。非居住者の場合は、区分欄に該当する区分 (01、02など)を記入してください。

扶養親族は、控除対象扶養親族と16歳未満の扶養親族に分けて記入してく ださい。

令和7年度税制改正により、所得税の「基礎控除」や「給与所得控除」に関する見 直し、「特定親族特別控除」の創設が行われました。令和7年12月に行う年末調整な ど、令和7年12月以降の源泉徴収事務に変更が生じますので、「法定調書の作成と提 出の手引き」や国税庁ホームページ等を参照願います。